

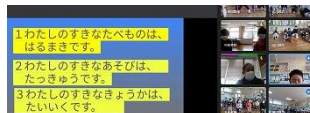
考える、語り合う No.33

一人一人が輝き、笑顔あふれる学校 まず考える、つぎに語り合う

令和4年3月11日
長崎市立川原小学校
学校だより
校長 寺田 成広

卒業が迫る6年生の姿

3月17日(木)に行う第68回卒業証書授与式において、6年生の支度が整ってきました。今号では、その支度の様子を中心にお知らせします。



〇3日(木)6年生を送る会

リモートで実施しました。昨年度は、出し物だけは6年生の前で発表しましたが、今年度は「まん防」期間中であり、完全リモートでした。また、準備や練習で密になりやすい学年の出し物をカットして、6年生への思いは、「各学年からのメッセージ」に込める、6年生に楽しんでもらうために、「6年生クイズ」を5年生がつくる、「入学からのスライドショー」を見て懐かしんでもらう等、内容を工夫していました。終わってみると、



- ・6年生全体と個人のよさ(優しさ、リーダーシップ等)をあらためて振り返る機会となった
- ・6年生の一年間の活躍があったから、リモートであっても何とか思いを伝えたいと他学年が趣向をこらした
- ・6年生からのメッセージにも、これまでついてきてくれた下学年へのお礼や、これからの川原小学校を託す気持ち、中学校生活への決意がこもっていた

等々によって、川原小らしい温かで笑顔あふれる送る会になりました!!



HP:リモート6年生を送る会 | 長崎市立川原小学校 ([nagasaki-city.ed.jp](https://www.nagasaki-city.ed.jp))

〇8日(火)キャリア教育講話

今後の進路選択の一助となればと、普段は長崎市のGIGAスクール構想推進支援業務を担っている会社の社長である渡邊氏をゲストティーチャーに迎えて、講話をしていただきました。小中学校はほとんど学校に行けなかったことから始まって、いじめにあったこと、親友とよべる友との出会い、一生懸命取り組んだ仕事によって認められた喜びと得た自信等をエピソードを交えて話していただきました。その上で、「無茶ぶりだと思っても引き受ける。相手はやれると判断して頼んでいる。」「学び続けて自分をバージョンアップしないと世の中にはついていけない。学校は安く学べるいい場所である。」と今後の生き方の示唆も与えていただきました。終始熱心に聞いていた6年生の心に、何かしら響くものがあったと思います。



ところで、保護者の皆様は、お子さんに自身のキャリアを語ったことがあるでしょうか。子どもたちにとって一番の憧れの対象である親が、人生で感じた喜怒哀楽やターニングポイント等を話してくれることは、この上ない喜びであり、最高のキャリア教育になるはずです。



〇8日(火)卒業式全体練習、11日(金)卒業式予行練習

6年生だけの練習から、5年生や関係職員が入っての練習となりました。

子どもたちは、所作や別れの言葉をよく覚えているので、全体の流れはスムーズに進みます。卒業式本番がこの6年間で最も輝く時間となるように、来週は細かなところも修正を加えたり、気持ちをさらに高めたりします。

